

～地域の「気づき」が高齢者虐待防止のキーワード～ 高齢者が尊厳をもって暮らせる地域に

高齢者虐待は、どこの家庭でも起こり得る身近な問題です。介護を担う家族（介護者）が、心身ともに疲労し、追い詰められ、自覚がないままに「虐待」にいたってしまうこともあります。

周囲の人の声かけや変化への「気づき」が、高齢者の尊厳を守り、介護を担う家族などを救い、高齢者虐待の防止につながります。



◆このような行為は高齢者虐待です。不適切な対応をしていませんか？

身体的虐待

叩く、つねる、蹴る、ベッドに縛り付ける、無理やり食べ物を口の中に入れるなどの行為。



心理的虐待

意図的に無視する、子ども扱いをする、悪口をいうなど、心理的・情緒的に苦痛を与える行為。



経済的虐待

合意なしに財産や金銭を使用したり、日常生活に必要な金銭の使用を理由なく制限したりする行為。



介護や世話の放棄・放任

空腹、脱水、低栄養状態のままにする、劣悪な状態や環境で放置するなど、介護や世話を放棄する行為。



性的虐待

わいせつな行為を強要したり、排泄の失敗に対し罰として裸にして放置するなどの行為。



セルフネグレクト（自己放任）を知っていますか？

セルフネグレクトとは、高齢者が自らの意思で介護・医療サービスの利用を拒否するなどにより、社会から孤立し、生活行為や心身の健康維持ができなくなっている状態をいいます。高齢者の権利が損なわれていると解されることから、虐待防止と同様に周囲の支援が必要です。

◆このようなことで悩んでいませんか？ 身近に気になる人はいませんか？

高齢者 「家族から暴力を受けている」「勝手に年金を使われてしまう」
家族・親族 「介護負担が重く、耐えられなくなりそう」「家族が両親に虐待をしているみたい」
地域住民 「近所から叩く音や怒鳴り声がする」「最近、近所の高齢者をみかけなくなった」
「汚れた服装や悪臭がある状態で放置されている高齢者がいる」

ひとりで悩まず、まずはご相談ください

虐待を見かけた、あるいは「もしかしたら」と思ったら、まずは長寿応援課または城里町地域包括支援センターにご相談ください。秘密は厳守します。

